

予 算 特 別 委 員 会 記 録

1. 日 時 令和7年3月5日(水)

午前11時30分 開 会

午後 0時03分 閉 会

2. 場 所 白 鷹 町 役 場 議 場

3. 議 題 (1) 議第19号の質疑、採決

(2) 議第20号の質疑、採決

(3) 議第21号の質疑、採決

(4) 議第22号の質疑、採決

(5) 議第23号の質疑、採決

(6) 議第24号の質疑、採決

○出席委員(11名)

2番	衣 袋 正 人 委員	3番	横 山 和 浩 委員
4番	竹 田 雅 彦 委員	5番	佐々木 誠 司 委員
6番	丸 川 雅 春 委員	7番	金 田 悟 委員
8番	笹 原 俊 一 委員	9番	山 田 仁 委員
10番	関 千鶴子 委員	11番	今 野 正 明 委員
12番	遠 藤 幸 一 委員		

○欠席委員(なし)

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	佐 藤 誠 七
副 町 長	田 宮 修
町民課長事務取扱	
教 育 長	衣 袋 慶 三
総 務 課 長	長 岡 聡
税務出納課長	高 橋 浩 之
企画政策課長	加 藤 和 芳
町民課長補佐	鈴 木 秀 一
健康福祉課長	永 沢 照 美

商工観光課長	黒	澤	和	幸
農政課長併 農業委員会事務局長	橋	本	秀	和
林政課参与(兼)課長	永	野		徹
建設課長	菊	地		智
上下水道課長	鈴	木	克	仁
病院事務局長	片	山	正	弘
教育次長	橋	本	達	也
監査委員	小谷部			仁
総務課長補佐 兼財政係長	鈴	木	秀	昭
総務課長補佐 兼総務係長	梅	津	友	宏

○職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	小	林		裕
補佐	大	瀧	勇	祐
書記	竹	田	雅紀子	

○開会の宣告

○委員長（山田 仁） ご参集、誠にご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は全員であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

昨日開催の第2回白鷹町議会定例会本会議において、本委員会に付託された令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第10号）外5件の補正予算について審査を行います。

審査の方法は、お手元に配付の補正予算審査文書表のとおり、最初に一般会計について、令和6年度補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行い、続いて、同様に各特別会計、事業会計の審査を行った後、議案番号順にそれぞれ採決いたします。

なお、質問される方、答弁なさる方は、それぞれ簡潔明瞭にされますよう申し添えます。

また、質問される方は、ページを示してください。

○議第19号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） それでは、議第19号 令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第10号）についてを議題とします。

初めに、補正予算説明書の概要について説明を求めます。長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） ご説明申し上げます。

令和6年度補正予算説明書の概要2ページをご覧ください。

一般会計の概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、人口減少や物価高の影響を受ける病院事業への緊急支援をはじめといたしまして、国補正を活用した保育園等の処遇改善や担い手確保経営強化支援事業に対応するほか、物価高への追加対応を行うものでございます。

加えて、各事業の整理を図りつつ、次年度に向け財政調整基金等への元金積立てを行うものでございます。

歳入でございます。

款、補正額、説明の主なものについて申し上げます。

10款地方交付税、6,000万円、令和6年度の普通交付税再算定結果に基づく増額補正でございます。

14款国庫支出金、1,230万2,000円、障がい福祉サービス費負担金、310万6,000円、障がい児福祉サービス費負担金、405万8,000円、子どものための教育・保育給付費負担金、

839万4,000円などでございます。

15款県支出金、772万5,000円、丸の4番目であります国民健康保険保険基盤安定制度負担金、167万7,000円の減額、後期高齢者医療保険基盤安定制度負担金、347万3,000円の減額、担い手確保経営強化支援事業、731万8,000円などでございます。

16款財産収入、239万5,000円、各種基金の運用利子の調整でございます。

17款寄附金、5,120万円、教育総務費寄附金、5020万円、社会教育費寄附金、100万円でございます。

18款繰入金、2億1,012万9,000円、財政調整基金繰入金、2億1,000万円などがございます。

19款繰越金、3,685万3,000円。

20款諸収入、28万4,000円、後期高齢者健康診査委託料、17万6,000円などがございます。

21款町債、2億3,150万円の減額、事業の実績等に基づく調整でございます。

歳入合計、1億4,938万8,000円。

続きまして、歳出でございます。

共通事項といたしまして人件費、111万円、会計年度任用職員に係る人件費の調整でございます。

款別の概要の主なものを申し上げます。

2款総務費、5,479万8,000円、財政管理費、2,566万5,000円、減災基金元金積立等への対応でございます。財産管理費、440万9,000円、通話録音装置の導入、発生利子による積立ての調整等への対応でございます。山形鉄道再構築事業、1,262万4,000円の減額、事業実績見込み等に基づく調整でございます。これらなどがございます。

続きまして、3款民生費、5,335万7,000円、上から2つ目の丸でございます。低所得者支援及び不足額給付事業、114万4,000円、事業実績見込み等に基づく調整でございます。その2つ下、障害者自立支援給付事業、620万9,000円、事業実績見込み等による調整でございます。

4ページになります。

民生費の上から3つ目の丸でございますが、児童福祉総務費、1,415万3,000円、国補正を活用した保育園等の処遇改善等への対応でございます。2つ下の丸、保育園費、1,459万9,000円、こちらも同様の対応でございます。

4款衛生費、1億7,786万8,000円、2つ目の丸でございますが、白鷹町新型コロナウイルスワクチン接種事業、2,360万円の減額、事業実績見込み等に基づく調整でございます。病院経営安定緊急対策事業（物価高対応分）、2億1,000万円、人口減少、物価高の影響を受ける町立病院の経営安定に向けた緊急支援でございます。これらの事業などがございます。

5 款労働費、4,000円、労働諸費、4,000円、発生利子による積立ての調整でございます。

6 款農林水産業費、673万7,000円、担い手確保経営強化支援事業、731万8,000円、意欲的な取組により農業経営の発展を図る担い手が導入する農業用機械に対する支援への対応でございます。これらなどでございます。

7 款商工費、243万4,000円の減額、若者定着奨学金返還支援事業、249万6,000円の減額、事業実績見込み等に基づく調整などでございます。

8 款土木費、9,353万3,000円の減額、町道安全対策事業、823万2,000円の減額をはじめといたしましてそれぞれの事業につきまして、事業実績見込み等に基づく調整を行うものでございます。

6 ページでございます。

9 款消防費、2,960万9,000円、常備消防費、625万7,000円、事業実績見込み等に基づく一部事務組合負担金の調整でございます。防火水槽新設事業費及び消防用施設等整備事業につきましては、いずれも事業実績見込み等に基づく調整でございます。

10 款教育費、1,538万円の減額、白鷹人育成事業、5,100万1,000円、次年度以降の計画的活用のための基金積立てへの対応でございます。中学校施設改修事業、3,479万4,000円の減額、事業実績見込み等に基づく調整でございます。これらの事業などでございます。

7 ページでございます。

11 款災害復旧費、242万円の減額、林業豪雨災害復旧事業費、242万円の減額、事業実績見込み等に基づく調整。

歳出合計、1 億4,938万8,000円。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。歳入歳出一括して質疑を行います。

3 番、横山委員。

○3 番（横山和浩） 2 点お伺いいたします。

概要の3 ページをお開きください。2 款総務費の2 つ目でございます。財産管理費の修繕料、委託料、工事請負費ほかの中に事業概要として通話録音装置の導入とございます。こちらはこういった取組なのか、その運用方法も含めてお伺いいたします。

○委員長（山田 仁） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答えいたします。

この導入につきましては、職員の電話対応品質及び接遇意識の向上等により行政サービスの質の向上を図るとともに、犯罪の防止並びに職員への不当要求行為等の排除を図ることを目的といたしまして、このたび、このまちづくり複合施設における電話システムに録音機能を導入するものでございます。

この運用の仕方といたしましては、常にかかってくる電話、発信した電話につきましては、この録音機能をもって録音されることとなりますけれども、これを運用する場合につきましては、ただいま申し上げたような目的が達成できる場合に限り、こちらの確認等を行いながら適切な対応をさせていただくということで考えてございまして、具体的にどのようなことかとなれば、職員への不当な要求等についての事実確認ですとか、言い間違い、聞き逃しの防止なども想定しているところでございますけれども、今現在、この運用につきましては詳細を詰めているところでありまして、それを詰め次第、実施をしてまいりたいと思っているところでございます。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 今の関係でお伺いしますが、電話の録音とありましたけれども、不当要求であるとか、サービス向上のためには窓口での対応の中でのものも片方であるかなと思います。そういったものは今回対応しないということではよろしいでしょうか。

○委員長（山田 仁） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答えいたします。

今、委員からご質疑ございました窓口での対応は、今回はしないという意味なのですが、窓口対応につきましては、これまでも接遇等については十分配慮しながら適切な対応をさせていただいていると思っておりますし、そこで何かしらのトラブルといいますか、そのようなことが発生した場合につきましては、そこにおいてもそれぞれの所管でこれまでは対応しているところでございますので、直接の対応というところでは今後も変わることなく継続して行っていくと認識してお答えさせていただきます。

○委員長（山田 仁） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。

続きまして、概要ではなく予算書の13ページをお開きください。3款民生費1目児童福祉総務費の中に性被害防止対策に係る設備等支援事業補助金ということで52万5,000円計上されております。こちらについてお伺いをいたします。

○委員長（山田 仁） 永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） お答えいたします。

こちらの支援事業補助金につきましては、保育所等における性被害防止対策に係る設備等、例えば子どものプライバシー保護のためにパーティションを設置、簡易扉と簡易個室等の設置などを行うための支援となっております。対象としては、保育所、子育て支援センター、学童が対象となっておりますのでございます。

以上です。

○委員長（山田 仁） 6番、丸川委員。

○6番（丸川雅春） 3点ほど伺います。

1点目は横山委員に関連しての電話録音装置の導入に関してであります、これは普

通録音装置されている電話にかけますと、この電話は録音されております、ご承知ください等の案内が出るわけでありましたが、こうしたことを町民の方に録音されているということを周知されるか伺いたいと思います。

○委員長（山田 仁） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答え申し上げます。

今回導入を想定しております録音機能につきましても、電話の受信時に初めにそのような音声メッセージを流すことが可能だということで聞いておりますので、運用の仕方についてはそれをさせていただくことも含めて考えているところでございます。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） 分かりました。

続きまして、4ページの4款衛生費新型コロナウイルスワクチン接種事業についてありますが、かなりの減額補正となっておりますわけでありましたが、接種者がいなかったということが考えられるわけでありましたが、該当する方での接種率というものは幾らぐらいだったでしょうか、お聞かせいただきたいと思います。

○委員長（山田 仁） 永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） お答えいたします。

新型コロナウイルスワクチンにつきましては、令和6年度からは予防接種法のB類疾病に位置づけられまして、同法に基づく定期接種として実施されておるところでございます。

接種費用につきましては3,500円の自己負担をしていただいているところでございます。当初見込んだ人数につきましては、令和5年秋の接種率から推計して見込んでおるものでございましたが、1月末現在の実績としては379人、見込んだ人数の10.7%の接種率となっておりますものでございます。以上です。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） これは定期接種、あとは任意接種もあろうかと思いますが、5類になったということで減っているのは理解しました。

続きまして、概要書6ページの9款消防費防火水槽新設事業費について、当初予算の今年度の請負費、そのまま減額されているということは整備に至らなかったと理解しておりますが、この整備に至らなかった理由について伺いたいと思います。

○委員長（山田 仁） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答えいたします。

この当該事業につきましては、下半期の事業実施を予定していたものでありますけれども、工事発注に係る測量設計業務を実施するに当たりまして、令和7年度に発生いたしました庄内最上地域の豪雨災害について、被災箇所の早期復旧のために建設業並びに測量関係の業界に関して、県からそちらを最優先するようということでの協力依頼が

あったと認識しております。

その過程の中におきまして私どもで望んでおりました履行期限までの実施が難しいということがございまして、今現在、設計は実施していただいておりますけれども、今回につきましては測量設計事業のみ発注をさせていただいて、工事につきましては次年度に改めて盛らせていただいて実施したいということで、今回の予算からは下ろさせていただいたところでございます。

○委員長（山田 仁） 丸川委員。

○6番（丸川雅春） 要望もあった箇所かと思われますが、こうした地元の方への説明がしっかりなされたか伺いたいと思います。

○委員長（山田 仁） 長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） お答えさせていただきます。

今年度実施予定だった地区の区長さんには、その旨、ご説明をさせていただいております。

○委員長（山田 仁） 2番、衣袋委員。

○2番（衣袋正人） 6ページの土木費2番目、橋梁安全対策事業の減額とありますが、2,630万円、この箇所とその減額理由等をお聞きしたいと思います。

○委員長（山田 仁） 菊地建設課長。

○建設課長（菊地 智） お答えさせていただきます。

国土交通省道路局の補助金を活用させていただいております。この国土交通省道路局の補助金が国の内示額が大変減って入ってまいりました。当初計画していたものの約3割の内示しかなかったということがございまして、まず委託につきましては、当初考えておりました橋梁点検が36橋から26橋へ、それから設計委託が2本から1本へという減になっております。

また、工事につきましても同じような理由でございまして、2か所予定していた工事が1か所しかできなかったということで、委託、それから工事請負含めまして2,600万円ほどの減となったという状況でございます。

○委員長（山田 仁） ほかにございませんか。

第2表繰越明許費及び第3表債務負担行為補正、第4表地方債補正に係るものや全体的な事項についてございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

○議第20号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に進みます。議第20号 令和6年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。田宮副町長。

○副町長町民課長事務取扱（田宮 修） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要 8 ページをご覧ください。

国民健康保険特別会計でございます。歳入歳出それぞれ1,450万1,000円を追加補正させていただきますものです。

概要といたしましては、保険給付費実績見込みに基づく国県支出金及び繰入金等の調整、国民健康保険事業運営基金への積立て、直営診療施設勘定繰出金の減額等を行うものでございます。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

○議第 2 1 号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に進みます。議第21号 令和 6 年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要 8 ページをご覧ください。

介護保険特別会計の概要でございますが、歳入歳出それぞれ9,000円の補正を行うものでございます。

概要及び説明につきましては、国庫補助金の決定による調整及び介護給付費準備基金の運用利子の積立て等を行うものでございます。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

○議第 2 2 号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に進みます。議第22号 令和 6 年度白鷹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。田宮副町長。

○副町長町民課長事務取扱（田宮 修） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要 8 ページをご覧ください。

後期高齢者医療特別会計でございます。歳入歳出それぞれ463万円を減額補正させていただきます。

概要としましては、保険料等負担金の実績見込みに基づき、後期高齢者医療保険料及び繰入金等の調整、後期高齢者医療広域連合納付金の減額を行うものでございます。

以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

○議第 2 3 号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に進みます。議第23号 令和 6 年度白鷹町下水道事業会計補正予算（第 4 号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。鈴木上下水道課長。

○上下水道課長（鈴木克仁） ご説明いたします。

このたびの補正につきまして収益的収入及び支出、資本的収入及び支出について補正するものでございます。

収益的収入及び支出につきましては、物価高騰に伴う薬品費等の調整、合併処理浄化槽事業の修繕への対応等ございまして、補正額はそれぞれ21万6,000円の減額、210万円ということになっております。

資本的収入及び支出につきましては、公共下水道事業等の建設改良費の調整及び財源更正でございます。補正額はそれぞれ3,137万2,000円の減額、3,158万8,000円の減額、以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

収益的収支、資本的収支一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

○議第 2 4 号の説明、質疑

○委員長（山田 仁） 次に進みます。議第24号 令和 6 年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第 3 号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。片山病院事務局長。

○病院事務局長（片山正弘） ご説明申し上げます。

補正予算説明書の概要 8 ページをご覧ください。

病院事業会計、初めに、収益的収入2,057万4,000円でございます。

主な内容といたしまして、病院経営安定化のため、一般会計からの繰出金の追加や事業実績見込み等に基づく調整を行い、内訳につきましては、医業収益2,093万7,000円、医業外収益36万3,000円の減でございます。

資本的支出4,090万円の減でございますけれども、主な内容といたしまして病院事業建設改良費の調整及び財源更正を行いまして、内訳につきましては資本的収入繰入金440万円減、企業債5,820万円の減、資本的支出建設改良費が4,090万円の減、以上でございます。

○委員長（山田 仁） 説明が終わりました。

収益的収支、資本的収支一括して質疑を行います。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） 質疑なしと認めます。

以上で質疑を終了します。

○議第19号の採決

○委員長（山田 仁） これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。

初めに、議第19号 令和6年度白鷹町一般会計補正予算（第10号）についてを採決いたします。

議第19号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第20号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第20号 令和6年度白鷹町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について採決いたします。

議第20号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第21号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第21号 令和6年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第4号）について採決いたします。

議第21号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第22号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第22号 令和6年度白鷹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について採決いたします。

議第22号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第23号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第23号 令和6年度白鷹町下水道事業会計補正予算（第4号）について採決いたします。

議第23号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第24号の採決

○委員長（山田 仁） 次に、議第24号 令和6年度白鷹町立病院事業会計補正予算（第3号）について採決いたします。

議第24号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（山田 仁） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（山田 仁） 以上で、本予算特別委員会に付託された補正予算6件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（山田 仁） ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決

しました。

○閉会の宣告

○委員長（山田 仁） これをもって予算特別委員会を閉会いたします。
ご苦労さまでした。

閉 会

〈午後 0 時 0 3 分〉

